

# ニュース99号

2014.3 発行

公益財団法人 岡山工学振興会編

E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp

HP: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

## 第26回（平成26年度）学術研究助成等の公募

平成元年に設立いたしました（公財）岡山工学振興会の学術研究助成等の公募も今回で26回目を迎えることとなりました。現在までの助成額も25,646万円に達することができました。財団を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いていますが、平成26年度においても、次の4項目について公募します。

1. 学術研究の助成、
2. 国際研究集会等派遣の助成、
3. 学術研究集会等への助成
4. 産学官連携研究会への助成

### I. 学術研究の助成

#### 1. 目的

この助成は、大学と産業界の連携を図りつつ、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術の向上を目指した研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的としています。

#### 2. 研究助成の対象

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、又は2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの

#### 3. 研究助成種目

研究の目的・性格に応じて、次の研究種目を設けています。

- (1) 奨励研究 申請時に37歳以下の研究者自身が、将来の中心課題として取り組む、優れた着想と発展性を備えた、学術的あるいは先端技術に関する萌芽的研究
- (2) 一般研究 特色ある成果を挙げている研究者が、新しい発想によりさらに学会・社会で認知される水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究
- (3) 特別研究 この研究助成は「内山勇三科学技術賞」と称し、平成元年に内山工業株式会社元会長故内山勇三氏の寄附金で設けたもので、特色ある先導的成果を挙げている研究者が、それを特許取得または実用化が展望できる内容に発展させることを目指した、先端技術に関する研究

#### 4. 研究助成件数と助成額

- |          |         |                 |
|----------|---------|-----------------|
| (1) 奨励研究 | 3～5 件程度 | (1件 30～50万円程度)  |
| (2) 一般研究 | 2～3 件程度 | (1件 70～100万円程度) |
| (3) 特別研究 | 2 件     | (総額 400万円まで)    |

## 5. 研究助成の申請

### (1) 応募資格

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専及び公的研究機関に所属する者

### (2) 申請手続

申請者は研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮のうえ、適切な種目で「研究助成申請書（様式1A）」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を研究種目ごとに取りまとめ、下記7に提出してください。

### (3) 申請書類

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。  
また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式を差し上げます。

応募にあたって以下のことに留意願います。

(1)研究の目的、必要性、計画の概要の焦点を絞り、(2)従来の研究あるいは手段・方法などに対する優位性が具体的（できれば定量的）にわかり、(3)専門の周辺の研究者にも研究の概要が理解できるように記述してください。

なお、専門領域の研究者しか理解できないような専門用語を多用した内容のものや、どこまでを目標とするのかが明瞭でない申請書も見受けられます。また、特別研究ということで、年齢・経歴に関係なく、奮っての応募を期待しています。

## 6. 提出期限

**平成26年4月25日（金）必着**

## 7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内  
公益財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）  
Tel・Fax：(086) 255-8311, E-mail：ofst@cc.okayama-u.ac.jp  
URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

## 8. 選考結果

(1) 選考委員会で選考し、理事会の議を経て決定します。申請者及び推薦者に対し、採否、助成金額、交付の期日と方法を通知いたします。

決定予定時期 平成26年7月中旬

(2) 採否決定経緯の問い合わせには応じかねます。

(3) 申請書類等は、原則として返却いたしません。

## 9. 研究の実施期間

研究実施期間は原則として1年です。ただし、研究内容によっては、次年度以降の継続も認められます。

## 10. 助成金の使途

申請課題以外の目的に使用することはできません。

研究代表者が病気等で長期にわたって研究ができなくなる場合、又は研究者が他の研究機関等へ異動される場合は財団にご連絡ください。

### 11. 研究終了後の手続

研究者は助成期間に応じ研究実績報告書を研究終了後提出していただきます。その詳細は採択時にお知らせいたします。

### 12. 研究成果の公表

(1) 研究成果を公表する場合は、下記の財団名を参考にして当財団から助成を受けた研究である旨を明記してください。

和文例：公益財団法人 岡山工学振興会

英文例 : Okayama Foundation for Science and Technology

(2) 助成を受けた研究者は、4～5年後に当会から研究成果の発表講演を要請する場合があります。その場合は、特別の事情がない限り必ず応じてもらいます。発表講演では、岡山県内の理工学の発展または先端技術の向上と研究成果の結びつきについて具体的に述べてもらいますのでご承知おきください。

(研究成果発表講演会については、後記の当振興会の研究成果の普及及び情報の収集・提供等の事業をご参照ください。)

## II. 国際研究集会等派遣の助成

### 1. 目的

岡山県内の大学及び民間の優れた研究者及び技術者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣し、研究成果の発表、情報の収集及び交換の活動を援助することにより、岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上を図ることを目的とします。

### 2. 助成対象の研究集会

外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するもの

### 3. 応募資格

派遣研究者は次の要件を満たすことを必要とします。

- (1) 大学又は研究機関等において、理工学の優れた研究活動の実績があること
- (2) 研究集会において、講演もしくは研究発表（ポスター発表を含む。）を行うこと、又は座長になることなど重要な役割を果たすこと
- (3) 研究集会への参加により、研究の著しい向上が期待されること
- (4) 研究集会における活動に必要な語学力を有すること
- (5) 申請時の年齢が、45歳以下であること

### 4. 申請手続

申請者は「国際研究集会等派遣助成申請書（様式2A）」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を取りまとめ、下記6に提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば電子データの様式を差し上げます。

### 5. 提出期限

**平成26年4月25日（金） 必着**

応募状況によっては10月頃追加募集を行うこともありますのでお問い合わせください。

### 6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内  
公益財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）  
Tel・Fax : (086) 255-8311, E-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp  
URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

### 7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者及び推薦者に採否、助成金額、及び交付の期日と方法を通知いたします。

### 8. 研究集会参加後の手続

研究集会参加後1ヶ月以内に「国際研究集会等参加報告書」を提出していただきますが、国際研究集会での活動内容が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差し上げるときにお知らせ

せします。

### III. 学術研究集会，学術講演会への助成

#### 1. 目的

岡山県内で開催される理工学分野の先端技術に関する学術研究集会、学術講演会を対象とし、その開催経費の一部を補助することにより、岡山県内の理工学と先端技術の発展向上を図ることを目的とします。

#### 2. 助成対象の学術研究集会

岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会で、次のいずれかに該当する研究集会

- (1) 学協会及びその支部が主催するもの（岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー、講習会等）
- (2) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの
- (3) 財団が認める組織が主催するもの

#### 3. 助成要件

岡山県内の研究機関に常勤する研究者が世話人として申請するもので、財団ニュース又は学会誌等で広報されるものであること。

#### 4. 助成の制限

助成の偏りを避けるため、1団体等への助成回数、同一世話人が申請できる1年度当たりの件数、他財団等からの助成数等について基準を定めて、助成の制限を行っています。  
なお、詳細は「助成の手引〔改訂版〕」を参照してください。

#### 5. 助成の申請

助成の申請は研究集会等の開催時期に応じて下表の通り定めています。申請者はメ切日までに「学術研究集会等助成申請書（様式4A）」を作成し、財団事務局へ提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式をお送りいたします。

開催時期	申請〆切日	開催時期	申請〆切日
4月～6月	2/14	10月～12月	8/15
7月～9月	5/9	1月～3月	11/14

#### 6. 助成の決定と義務

選考委員会で選考し、申請者にはその結果をすみやかに連絡いたします。採択された研究集会等から刊行される印刷物には、共催、協賛、後援、賛助等の冠を付けて財団名を記載してください。

#### 7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内  
公益財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）  
Tel・Fax：(086)255-8311, E-mail：ofst@cc.okayama-u.ac.jp  
URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

#### 8. 研究集会参加後の手続き

研究集会参加後1ヶ月以内に「学術研究集会等開催報告書」を提出していただきますが、研究集会の開催が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差しあげるときにお知らせいたします。

## IV. 産学官連携研究会への助成

### 1. 目的

岡山県内の大学と産業界の連携を図りつつ、理工学に関する学術ならびに先端技術に関する研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的とします。

### 2. 助成対象の研究集会

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会

### 3. 事業の範囲

研究会等が行う事業の範囲は次のとおりとする。

- (1) 理工学に関する研究成果の普及に関するもの
- (2) 先端技術研究に関する情報の提供に関するもの
- (3) 理工学に関する産学交流事業に関するもの
- (4) 理工学教育の振興に関するもの
- (5) その他財団の目的を達成するために必要なもの

### 4. 申請手続

研究会等を設置する場合は、「研究会等設置申請書（様式 5A）」及び「研究会等助成申請書（様式 6A）」を財団事務局に提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式をお送りいたします。

### 5. 提出期限

平成 26 年 4 月末日

### 6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1 番 1 号 岡山大学新技術研究センター内  
公益財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）  
Tel・Fax：(086) 255-8311, E-mail：ofst@cc.okayama-u.ac.jp  
URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

### 7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者に採否、助成金額及び交付期日と方法を通知いたします。

### 8. 研究集会修了後の手続

研究会等の代表者は、毎会計年度終了後速やかに当該年度の研究会等事業収支報告書を提出していただきます。

## ✿ ほっと交流会

「岡振サロン」では毎月第 2 金曜日に色々な方に「ほっとな話題」を提供していただき、気軽に意見を交わす「ほっと交流会」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

日時：平成 26 年 3 月 13 日（木）18:00～

講師：岡山大学名誉教授 古賀隆治

題目：「グライダー～飛び方と楽しみ方～」

概要：動力つきの飛行機とグライダーの違いを説明の後、沸き立つ気流の中でいかにして太陽エネルギーをとらえ、何時間もの滞空、何百kmもの距離飛行、何千mもの高度獲得を可能にするか、その方法と経験を語る。

○場所：岡山大学新技術研究センター1F、参加費（軽食付）：賛助会員：1,000 円、非会員：1,500 円

## 賛助会員様のご紹介

(公財)岡山工学振興会は、理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。8月号より、この趣旨に賛同し、ご支援賜っています法人会員様をご紹介します。今月号は、みのる産業株式会社様にご執筆を賜りました。

## 賛助会 法人会員 みのる産業株式会社

### 1. みのる産業のプロフィール

みのる産業株式会社は、平成25年10月で69年目になる農業機械メーカーです。昭和20年の創業から受け継がれた「農は国の基なり」という理念を胸に、常に農家の方々のニーズに答えた製品開発を行ってきました。弊社の製品は、田植機、防除機を始めとする農業機械がメインですが、他にも餅つき機、精米機、水耕栽培器具の製造販売を行っております。また時代の流れに沿って、プラスチックの製造業、ゴルフやホテル事業、壁面緑化事業やシイタケ生産事業など多角的な経営を行っております。

### 2. 「独自の発明」でのものづくり

「発明のみのる」というほど、弊社は独自のものづくりに取り組んできました。

食糧増産の時代、農家の方々からとにかく作業が便利に楽になるものの開発要請が相次ぎ、まず目を付けたのが稲作の除草。薬液散布機「2・4D スプレー」を開発しました。これが弊社の商品開発の始まりで、その後日本初の稲の刈取機、餅つき機など今まで世になかった製品を次々と生み出してきました。これがわが社の強みです。

### 3. メイン商品「ポット田植機」

弊社のメイン商品であるポット田植機システムは、蜂の巣状の苗箱にて1株ずつ苗を育苗し、ポット成苗と呼ばれる、「大きく健全な苗を植える」という独自の方法を取っております。このポット成苗は、厳しい自然環境でも健全な生育ができるため、北海道を始めとする寒冷地や有機栽培などでご活用頂いております。特に北海道ではこのシステムが機械移植全体の7割を占めております。

また、このシステムを野菜の移植機にも応用し、玉ねぎを始めとする野菜の全自動移植機を開発し、農業の省力化、大規模化につなげています。



メイン商品の「ポット田植機」

### 4. 環境に優しい農業を目指して

近年みのる産業では、「環境宣言」として環境に優しい商品づくりに取り組んでおります。静電気の力を使って、農薬の使用量を30%減らすことができる「静電噴口」、光で虫を誘引捕獲す

る「LED誘引捕虫器」、機械的に水田除草を行う「水田除草機」などの商品開発を行っております。またエクセルソイル事業部では、玉ねぎ移植のために開発した土を固める技術を利用した独自の固化培土での緑化事業を行っており、駅やショッピングモールなどでご利用いただいております。



環境にやさしい防除機「静電噴口」

また、「有機栽培に最適なポット成苗を少しでも多くの有機農家の方々に伝えたい」思いから、「有機稲作成苗の会」を2010年に徳島で発足いたしました。こ

の取り組みは、ポット田植機を使って田植し、米ぬか散布で除草を行う「有機の美味しいお米づくり」とその販売をサポートさせていただいております。現在では、岡山、兵庫、山口、島根県とその輪を広げています。

## 5. 経営理念手帳での社員教育

弊社では、昨年度から全従業員に経営理念手帳を配布し、毎朝朝礼にて経営理念の唱和をしています。経営理念を理解することにより従業員のベクトルを合わせ、厳しい環境の中でも成果を出せる会社づくりを行っています。

みのる産業株式会社 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447

<http://www.minoru-sangyo.co.jp/>

## 《（公財）岡山工学振興会賛助会員の募集について》

（公財）岡山工学振興会は、平成元年2月3日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

### ◆申し込み手続き◆

- 1 （公財）岡山工学振興会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。
- 2 賛助会費（年額）

(1) 法人会員	1口	50,000円	1口以上
(2) 個人会員	1口	5,000円	1口以上

### ◆賛助会員の特典◆

- 1 研究課題および研究者についての各種の情報（最新の研究年報等）が提供されます。
- 2 講演会、セミナーに参加できます。  
国の内外から第一線の研究者を招き、理工学分野で話題となるトピックスについての講演会やセミナーを開催します。  
「バイオテクノロジー」「ネットワーク技術」「ナノテクノロジー」「高速デジタル技術」など、先端技術の研究成果と今後の展望について、研究者の生の声をお伝えします。
- 3 各種学会が開催するセミナーあるいは特定分野における短期の技術者養成を行える研究室などを紹介し、若手技術者の養成を援助します。
- 4 技術相談のお世話をします。工学的な立場からのアドバイスを希望されるときには、その相談に応じます。
- 5 産学交流に協力できます。共同研究、委託研究等についても、緻密な人的ネットワークを駆

使して適切な研究者を紹介します。  
上記の他、賛助会員に有意義な事業の企画について、各位からご提言賜れば幸いです。

※詳しくは当財団ホームページ <http://ww1a.biglobe.ne.jp/ofst/> をご覧ください。

## 学術交流推進事業公募

### 1. 目 的

この助成は、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術の向上を目指した優れた学術研究および学術集会開催等を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術の発展に寄与することを目的としている。

2. 研究助成等の対象 理工系の基礎及び応用研究または、これらに関わる学術集会等

### 3. 研究助成等の種目

(1) 学術研究推進助成 特色ある成果を挙げている研究者等がさらに高水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究

(2) 学術集会開催推進助成 岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する学術集会、学術講演会

4. 研究助成等の費用 学術研究推進助成等申請書の研究内容等に賛同する企業等の寄附金をもって充てる。

5. 研究助成件数及び金額 概ね 30 件程度 (1 件 1 万円以上)

### 6. 研究助成の申請

(1) 応募資格 理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者または研究グループで岡山県下の大学、高専等教育研究機関に所属する者。

(2) 申請手続 申請者は研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮し、学術研究推進助成申請書(様式 1-1)を、または学術集会開催推進助成申請書(様式 1-2)を作成し下記 8 に郵送またはメールで提出してください。

(3) 申請書類 申請用紙は当財団のホームページからダウンロードできます。  
また、財団事務局に請求くだされば、電子データの様式を差し上げます。

(4) 受付開始 平成 26 年 4 月 1 日から

7. 提出期限 **毎月月末**

8. 提出先・お問い合わせ先 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1 番 1 号

公益財団法人 岡山工学振興会事務局

Tel・Fax : (086) 255-8311

E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp,

URL: <http://ww1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

### 9. 選考結果

選考委員会で選考(審査)し、申請者及び寄附者に採否、助成金額、交付期日等を通知する。

### 10. 研究・集会終了後の手続

助成期間終了後 1 年以内に学術研究推進助成実績報告書(研究継続中の場合は中間報告書)(様式 5) または学術集会終了報告書(様式 6) を提出して下さい。

11. 研究成果等の公表 財団 HP <http://ww1a.biglobe.ne.jp/ofst/> において公表する。